



現役の活動状況

女子

元7代目顧問 赤星 明

第72回高校秋季総合体育大会

8月11～17日 参加校42チーム

[オープントーナメント方式]

1回戦	○	寝屋川	16	-	11	大阪成蹊
2回戦	○	寝屋川	31	-	8	鳳
3回戦	○	寝屋川	18	-	6	生野
準々決勝	○	寝屋川	19	-	17	八尾
(7Mコンテスト)						
準決勝	●	寝屋川	9	-	40	宣真
3位決定戦	●	寝屋川	8	-	33	宣真
(大阪府4位)						

第69回高校新人大会、兼、第41回全国選抜予選大会

11月3～26日 参加校41チーム

[北ブロック大会・リーグ戦]

○	寝屋川	37	-	2	大阪市立
●	寝屋川	12	-	19	豊中

(北ブロック大会・トーナメント、進出ならず)

新チームに切り替えて、臨んだ夏の合宿の練習試合は、20勝2敗2分の、成績でした。

その勢いで、8月の秋季大会に臨みました。

くじ運もよく、私の予想していた通り、大阪ベスト4まで、勝ち進んでくれました。

11月の新人戦前に、1年生2名が、進路と家庭の事情で、辞め、1年生は、3名になりました。

新人戦は、1年前に落とした、シードを取り戻すよう、頑張っていたのですが、豊中高校に、負けて、ブロックリーグ戦を、突破できませんでした。



夏の合宿では、勝っていたので、少し、油断がありました。

豊中とは、合宿では、1年・2年と、チームを分けて、戦っていて、2年生チームには、寝屋川は勝っていました。

しかし、今回の公式戦では、相手に1年生のJOC大阪中学選抜チームに選ばれた、173cmの選手が、センターでいました。

その選手に、1対1を抜かれ、気持ち、焦ってしまいました。

前の試合の、大阪市立の、ワンマン速攻で、よく点が決まったこともあって、後半は、早く点数がほしいため、センターを守るキャプテンが、無理なパス出しをして、カットされ、逆速攻されました。

日頃、あまりミスをしないうキャプテンですが、ペナルティまで、はずし、チーム全体で、50数本のミスが出て、自滅してしまいました。

高校生の女子の試合は、本当に戦ってみるまで、わからないことを、実感しました。

試合が終わってから、2年前のチームの話を、しました。

同じように、新人戦の、ブロックリーグ戦で敗れ、半年間頑張って、春の大会に、ブロック1位シードの、春日丘高校を破って、ブロック準優勝したこと。

今の彼女たちは、1年生の時の、インターハイ予選で、頑張っていた、3年生の姿を見ているので、説得力がありました。

このあと、また、半年後の4月のインターハイ予選で、寝屋川が、旋風を起こすことを信じて、頑張ります。

応援して、ください。

女子キャプテン 2年生 山本 みなみ

私たちは2年生13人、1年生3人、マネージャー1人の、計17人で、毎日活動しています。

今までに、比べると、人数が少ないのですが、全員で声を出し、一生懸命練習に、励んでいます。

昨年、私は1年生から、試合に出させてもらっていましたが、3年生の、最後の試合に、力を出し切れずに、負けてしまい、悔しい思いをしました。

3年生が引退し、新チームとして、次の目標に向けて、進み始めました。

今年の夏の大会では、府下ベスト4まで、勝ち進むことができました。

ベスト4を決める、八尾高校との試合では、前半、後半、同点で、7Mスローコンテストになりました。

そのときの興奮は、今でも、心に残っています。

新人戦では、夏の大会で勝てた、自信と余裕が、仇になってしまったのか、合宿では、勝った相手である、豊中高校に負け、ブロックシードを取ることができず、終わってしまいました。

これから、長い冬に、入ります。

新人戦での、反省を活かし、原点に戻って、また一から、練習していきます。

目標である、近畿大会に向けて、後悔のないよう、試合後に、全員の笑顔が、待っているよう、精一杯頑張って、いきたいです。



男子

8代目顧問 堀川 美子 (27期生)

第72回高校秋季総合体育大会

8月11～17日 参加校67チーム

[オープントーナメント方式]

2回戦	●	寝屋川	17	-	20	関西福祉科学大学高校
-----	---	-----	----	---	----	------------

第69回高校新人大会、兼、第41回全国選抜予選大会

11月3～26日 参加校66チーム

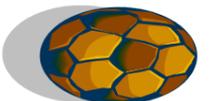
[北ブロック大会・リーグ戦]

○	寝屋川	25	-	10	咲くやこの花
○	寝屋川	34	-	11	守口東

[北ブロック大会・トーナメント]

1回戦	●	寝屋川	9	-	15	北野
-----	---	-----	---	---	----	----

(中央大会、進出ならず)



現在の2年生は、入学してすぐに、3年生に引退され、その時いた2年生、3名も辞めてしまい、途方にくれながらも、頑張っ、練習してきました。

それが、今年の春4月のインターハイ予選で、実を結び、3年生チームに勝利し、ブロックリーグ戦を、1位通過できました。

新入部員も11名が、入部してくれ、恒例の、夏休みの合宿を迎えました。



今年の1年のレベルは、今までに比べると、高い方だと思いました。

しかし、7月の夏の合宿後に、すぐに7名が、辞めてしまいました。「できていないことを、できていない」と言われることが、苦痛で、ハンドボールが楽しめない、とのことでした。

最近の生徒に、「楽しく、ハンドをやりたい!」と、よく言われますが、今まで、しんどくて、苦しかった練習しか、してこなかった私には、なかなか難しいことです。

卒業して、あんな苦しい練習に、耐えれたことが、自信となって、「ハンドボールをやって、よかった」という思いは、強いです。

しかし、練習は、ただ、ただ、しんどかった思い出しか、ありません。(笑)

8月の秋季大会では、関西福祉科学大学高校との試合が、初戦。前半は、部員が一丸となって、点を取られたら、取り返すという、緊張感のある試合が、展開され、同点で、前半を終えました。

しかし、後半に入ると、寝屋川の男子特有の、自分達からチャンスを、放棄してしまうという、弱さが、前面に出てきました。

ノーマークシュートを、はずすことで、相手チームに、勢いをつけさせてしまいました。

アップの際の、相手チームの練習を見て、「うまいなあ」と思い、ビビっていたそうです。

11月の新人戦では、咲くやこの花高校、守口東高校と、ブロックリーグで戦うことになりました。

今年は、試合日程が、2週続けて台風が直撃するという状況で、順延となり、モチベーションを、どうやって維持しようかと、気を使いました。

練習試合を、したことがないチームでしたが、どこのチームに対しても、練習したことが出せて、1年生も公式戦でのデビュー戦で、得点を上げることができました。

今回も、ブロックリーグは、勝ちあがれるだろうと、思っていました。

ブロックトーナメントでは、北野高校と、対戦することになりました。

夏に、練習試合をしていましたが、力的にはいけるかな?と、思えるチームでした。

しかし、練習試合でも、1試合目は勝ち、2試合目は同点、3試合目になると、得点させてもらえず、負けという結果でした。

北野高校の、「同じことは、2度やられない」という、試合中の修生力は、すごいと思います。



試合の前半は、寝屋川の攻撃に、北野は押し気味で、部員の気持ちも、強気で、ガッツポーズも出ていたので、「これは、ちょっと、やってくれるかも?!」と、期待したのも、つかの間、追いつかれてくると、いつもの消極的なプレーが、目立ち始め、結局、同点で、後半を迎えました。

後半になっても、寝屋川は、形ばかりの動きで、相手が3回も退場したのに、点を決めることができず、大差で負けてしまいました。

初心者の集まりで、一人一人に、特別な力があるわけはありませんが、「みんなで戦えば、相手に立ち向かって、行ける!」を、目標に、頑張ってきて、他校の先生方からも、「行けますよ!」と、言ってもらっていましたが、部員には、いつまでたっても、自信が芽生えず、「自信につながる、努力が足りないなあ」と、感じています。

これから、来年の4月まで、たくさん時間があるので、また一から、身体も、心も、鍛えて、どこまでいけるか、楽しみにしています。

男子キャプテン 2年生 島田 悠河

現在、僕たちは、2年生7人、1年生6人の、計13人で、活動しています。

人数が、今までより、少ないことで、苦しい時もありますが、先生に教えられたことを、一つ一つ理解し、中央大会進出を目指して、日々練習しています。

今年の4月の春の大会では、芥川高校と戦い、最初、押され気味でしたが、徐々に、自分達のプレーが出来るようになり、格上の相手でしたが、接戦の末、公式戦、初勝利を、収めました。

しかし、ブロックリーグ戦は、突破はしたものの、ブロックトーナメント戦で、対戦した桜塚高校には、相手のディフェンスの前に、何も出来ず敗退し、多くの課題が残る、大会となりました。

8月の夏の大会では、関西福祉科学大学高校と戦い、競った試合でしたが、勝ちを逃し、悔しい大会と、なりました。

11月の新人戦では、咲くやこの花、守口東高校に勝ち、ブロックリーグを突破しましたが、ブロックトーナメントで、北野高校と戦い、序盤、押していましたが、相手の対応力により、押し返され、後半は、何も出来ないまま、敗退しました。

今の自分達は、「声を出して、連絡を取り合う」、「相手の行動に、対応できる」ことが、欠けています。

試合を、見に来てくださったり、OB・OGの方々の、暖かい応援、ありがとうございます。

このような応援を、無駄にせず、自分たちの弱点を、克服し、悔いのないよう、全力で練習に、取り組んでいこうと、思います。

第24回 総会報告

2016年度(平成28年7月1日~29年6月30日)のOB・OG会総会が、8月19日(土)、盆サマーハンドボールに先駆けて、午後1:00からセミナーハウス(旧、北水会館)3階で開催され、下記の議題が討議、承認されました。

[議題]

1. 24期(平成28年度) 活動報告
2. 24期(平成28年度) 会計報告
3. 24期(平成28年度) 監査報告
4. 25期(平成29年度) 活動計画(案)
5. 25期(平成29年度) 予算(案)
6. 25期(平成29年度) 役員体制

第24期(平成28年7月1日~平成29年6月30日) 活動報告			
日時	活動	会場	参加者
2016 7 9 土	会報発行	寝屋川高校・セミナーハウス	……
〃 〃	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	7名
8 20 土	第24回OB・OG会総会	寝屋川高校・セミナーハウス	10名
〃 〃	盆サマーハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	58名
10 15 土	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	6名
12 10 土	会報発行	寝屋川高校・セミナーハウス	……
〃 〃	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	8名
2017 1 14 土	正月ハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	56名
〃 〃	新年会	寝屋川高校・セミナーハウス	67名
2 27 月	69期生(2017.3卒業)OB・OG会入会式	寝屋川高校・セミナーハウス	24名
5 20 土	役員会	寝屋川高校・セミナーハウス	12名





平成28年度収支報告書 (H28.7.1~H29.6.30)		
(単位：円)		
項目	金額	摘要
(収入の部)		
前期繰越金	245,218	
会費収入	295,000	28年度 @5,000×55名、29年度 @5,000×4名
特別会費	47,000	ナイターハンド会費 @1,000×20名 新年ハンド会費 @1,000×27名
雑収入	6	貯金利息6円
計	587,224	
(支出の部)		
事業費	71,876	ナイター会食費 35,323円 新年ハンド会食費 27,805円 OB・OG会入会式8,748円
援助金	50,000	現役援助金
通信費	141,784	各種案内郵送料
会議費	0	
運営費	19,626	封筒代他 12,200円、HP運営費 7,426円
備用品費	2,183	事務用品
雑費	5,106	郵便振替手数料他
慶弔費	0	
記念事業積立金	0	
計	290,575	
差引剰余金	296,649	
記念事業積立金 (単位：円)		
項目	金額	摘要
前期繰越金	820,000	
繰入金	0	
取崩金	0	
翌期繰越金	820,000	
以上、平成28年度の収支報告を致します。 寝屋川高校ハンドボール部OB・OG会 会計 井上 武久 ㊟		
上記の収支報告書は、平成28年度の収支の状態を正しく表示していると認めます。 平成29年7月31日 寝屋川高校ハンドボール部OB・OG会 会計監査 今堀 太逸 ㊟ 吉田 雅子 ㊟		

第25期(平成29年7月1日~平成30年6月30日) 活動計画(案)			
日時	活動	会場	参加者
2017 7 8 土	会報発行	寝屋川高校・セナーハウス
〃 〃	役員会	寝屋川高校・セナーハウス	9名
8 19 土	第25回OB・OG会総会	寝屋川高校・セナーハウス	15名
〃 〃	盆サマーハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	45名
10 7 土	役員会	寝屋川高校・セナーハウス	10名
12 9 土	会報発行	寝屋川高校・セナーハウス
〃 〃	役員会	寝屋川高校・セナーハウス	名
2018 1 13 土	正月ハンドボール	寝屋川高校・グラウンド	名
〃 〃	新年会	寝屋川高校・セナーハウス	名
2 26 月	70期生(2018.3月卒業)OB・OG会入会式	寝屋川高校・セナーハウス	名
5 19 土	役員会	寝屋川高校・セナーハウス	名

平成29年度予算書 (H29.7.1~H30.6.30)		
(単位：円)		
項目	金額	摘要
(収入の部)		
前期繰越金	296,649	
会費収入	300,000	29年度@5,000×60名
特別会費	40,000	@1,000×20名 2回
雑収入		
計	636,649	
(支出の部)		
事業費	73,000	ナイター・新年ハンド会食費他 71,000円 OB・OG会入会式 2,000円
援助金	70,000	平成30年現役援助金50,000円他
通信費	153,000	各種案内郵送料
会議費	0	
運営費	87,000	会報作成費・HP維持費他
備用品費	5,000	事務用品他
雑費	18,500	振替手数料他
親睦会活動費	200,000	
記念事業費繰入金	0	
計	606,500	
差引剰余金	30,149	

[平成29年度役員] 51名

会長	寺西 啓三 (20期)	小合 省三 (24期)
副会長	菊地 和代 (21期)	
幹事長	田中 裕一 (31期)	
幹事	木村 慶次 (18期)	小森園 多恵子 (22期)
〃	古本 まみ (22期)	甫田 裕佳里 (29期)
〃	久木 久美子 (33期)	大塚 万里子 (33期)
〃	稲葉 清志 (43期)	谷 和哉 (44期)
〃	中東 大輔 (58期)	北崎 千咲子 (59期)
〃	田村 英明 (59期)	井上 貴子 (65期)
〃	山崎 史帆 (65期)	篠原 英里子 (65期)
〃	吉本 実奈美 (65期)	西垣 智哉 (65期)
〃	妹尾 直樹 (65期)	富岡 浩紀 (65期)
〃	花光 真紀 (66期)	古川 七海 (66期)
〃	天日 菜津子 (66期)	中川 諒 (66期)
〃	佐藤 昇五 (66期)	永田屋 悠人 (66期)
〃	仲野 美乃里 (67期)	日高 沙耶 (67期)
〃	岩崎 夏子 (67期)	高橋 宜希 (67期)
〃	高橋 大地 (67期)	加藤 匡裕 (67期)
〃	足立 実央 (68期)	森野 聖鈴奈 (68期)
〃	上木原 裕依 (68期)	末次 健太郎 (68期)
〃	大前 空 (68期)	森脇 裕司 (68期)
〃	石森 みなみ (69期)	浅田 峰花 (69期)
〃	赤城 真菜 (69期)	井尻 将聖 (69期)
〃	森本 豊 (69期)	長谷川 大輝 (69期)
会計	井上 武久 (23期)	
会計監査	今堀 太逸 (21期)	吉田 雅子 (29期)
相談役	津熊 美智子 (18期)	大森 孝志 (31期)





2017年 盆サマーハンド 報告

今年の盆サマーハンド・懇親会が、8月19日(土)、ハンドボールOB・OG会総会終了後、現役を含む58名の参加により、開催されました。

14時から、現役とOB・OGの、親睦試合を行いました。現役の全力プレーが、非常に良かったと思えました。

16時からの、北水会館での懇親会では、寺西会長の挨拶の後、巻き寿司・いなり寿司を、ほおぼりながら、懇親を深め、その後は、恒例のビンゴゲームを行いました。

景品を受け取る時に、恒例の夢を語るコーナーがあり、現役の皆さんからは、試合の勝利、プレーの上達、学力のアップ、将来の職業等、みなさんの個性が出ていて、非常に楽しいものとなりました。

今年は、OB・OG総会にも、たくさん若いOB・OGの方が参加してくださったおかげで、とても元気がありました。

新年正月ハンドボールにも、OB・OGの皆さん、同期生・先輩・後輩に、声をかけ合って、多数の参加を、お願いいたします。



2018年 新年正月ハンドボールのご案内 現役男女が元気です OB・OGの皆さんの、多数の参加をお待ちしています

今年度の、新年恒例の「新年正月ハンドボール」を、下記の日程で行います。

昨年は、現役とOB・OGとの親睦試合後、懐かしい、寝屋川高校の食堂で、温かい豚汁とおしるこを、いただきました。

若手のOB・OGの参加が、例年より多く、にぎやかな、新年会となりました。

しかしながら、親睦試合には、まだまだメンバー不足です。

今年は、現役男子の3年生が、ゼロとなりましたが、1・2年生が、少人数で頑張っています。

勿論、女子部員も。

一人でも多くの方々に、参加していただき、エールを送ってやって、下さい。

また、寒さの中、全力でプレイする現役からも、エネルギーを、貰いましょう。

現役への、応援・支援をこめ、より多くの皆様のご参加を、お待ちしております。

日 時	2018年1月13日(土)	
親睦試合	1:00~3:00	ハンドボールコート
新年会	3:30~5:00	セミナーハウス3階
2次会	5:30~	がんこ寿司(寝屋川店)
会 費	1,000円	

< 雨天の場合 >

新年会	1:00~2:30	セミナーハウス3階
2次会	3:00~	がんこ寿司(寝屋川店)

会計よりの、御礼とお願い

井上 武久(23期)

会員の皆様には、平素より本会の運営に、ご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

次掲させていただきました、平成29年度会費納入をいただきました方々には、改めまして御礼申し上げます。

尚、納入者名は、平成29年11月1日現在で、作成しておりますので、それ以降に納入の方の、未掲載につきましては、ご容赦願います。

現在、OB・OG会は、会員の増加により、会報発送の為の費用等が、年々増加しております。

一方、会費納入者は増えず、財政状況は、非常に厳しい状態と、なっています。

今後とも、本会の発展、並びに、円滑な運営を行う為、年会費の

納入につきまして、会員各位のご協力を、よろしくお願いいたします。



払い込みは、同封の郵便振替払込書、又は、銀行振込みで、お願いいたします。

・郵便局利用

口座番号 01100-6-73829

加入者名 寝屋川クラブ

(注)金額欄には、「¥」を書かないで下さい。

この振込用紙には、通信欄もありますので、会の運営に對してのご意見や、近況報告など、ご自由に、ご利用ください。

・銀行振込利用

振込銀行 住友銀行 川西支店

口座番号 普通預金 1011226

口座名義 寝屋川クラブ 井上武久(イノウエ タケヒサ)

・年会費：社会人 5,000円

学 生 3,000円

平成29年度(2017.7~2018.6月)

会費納入者

平成29.11.1現在

3期 大槻明子 村田芳子 森広洋子

5期 松本由紀子

6期 望月滋乃

7期 金馬桂子

13期 土井利勝 平井謙二

15期 小倉裕子

16期 北村文雄 多賀谷博康

17期 中田順子 川口宗一郎

18期 木村圭子 谷村千津子 津熊美智子 木村慶次

19期 平井晴美 吉田裕紀

20期 仲尾由紀子 井川隆三 寺西啓三

21期 菊地和代





- 22期 小森園多恵子 古本まみ
- 23期 井上武久 葛木啓之
- 24期 小合省三
- 26期 地原繁信
- 27期 堀川美子 渡部安晴
- 29期 甫田裕佳里 望月光治
- 31期 大森孝志 田中裕一
- 32期 西山直志
- 38期 笠松昭良
- 43期 小林恭子
- 44期 谷和哉
- 45期 大池和幸
- 55期 大森さやか
- 58期 井本実和
- 59期 戸沢千咲子 土井安寿香



訃報連絡

- ① 高校3期 池谷 卓治 (2017年5月22日逝去)
- ② 高校21期 岡市 協生 (2017年1月逝去)

21期キャプテン、岡市協生君を偲んで
2017年10月22日 21期 北澤 三郎

10月1日、寝屋川高校女子ハンドボール部キャプテンだった、21期菊池和代さん(旧姓、岩本さん)から、「同期で、キャプテンを務めた、岡市協生さんが、今年亡くなったと聞いたので、思い出を書いて欲しい」との、電話がありました。

卒業後、ずっと、交流が続いていた訳ではなく、確か8年前に、同期で、沖縄在住の染色家・平井真人君から、今度、岡市君の奥さん・由美子さんの経営する、長崎市内の美容院で、作品展を開く予定だと、聞かされた時から、交流が、始まりました。



その夏、妻と一緒に、長崎を訪問し、岡市君、平井君と4人で、高校の修学旅行以来となる、グラバー園ほか、市内の名所を、観光しました。

夜は、仕事を終えた、岡市君の奥さん、由美子さんが合流し、チャンポン発祥の店として有名な、「四海樓(しかいろう)」で、食事をしました。

由美子さんとは、この時が、初対面でした。

初対面の印象は、年齢は、私たちより、ひとまわり下ですが、長崎の女性らしく、あまり、小さなことには、拘らず、思い切りが良く、包容力のある、逞しい女性だという、印象でした。

そのような性格が、大学で難しい研究に取り組む、岡市君にとって、相性が良く、安心できる、ベストパートナーたる所以だと、思っています。

大学卒業後、就職した製薬会社から、カリフォルニア大学に留学し、研究者としての生活が、始まったようです。

帰国後は、製薬会社を退職し、奈良県立医科大学を経て、長崎大学の教員として、勤務していました。

2012年の夏、平井真人君が、講師を務める、京都造形大学の卒業生が、多く参加する、地域文化遺産研究会の、行事の一環として、長崎市南山手プール坂の、岡市君の別宅で、ポロック染色体験をしたことがあります。

岡市君も、奥さんも、染色は、初めてだと思うのに、熱心に、取り組んでいました。

翌日、浦上天主堂、長崎原爆記念館、長崎大学の原爆後遺障害医療研究施設を、見学した後、岡市君の研究室に移り、「細胞レベルの、放射線の影響に、ついて」と、いうテーマで、岡市先生から、講義を、受けたことがありました。

私は、一番前で、熱心に、聞いていたのですが、旅の疲れが出て、ウトウトしてしまい、平井真人君からは、「北澤！、お前、寝とったで！」と言われ、ガックリきました。

再会を、果たした頃は、ビールを、実に美味しそうに飲んでいたのに、いつの頃からか、あまりビールが美味しくないと言いました。

昨年秋に、長崎大学を退官してから、急速に、体調を、崩したようです。

奥さんからは、頻繁に、電話・メールを、もらいました。

私は、岡市君が、電話やメールをするのも困難なくらい、衰弱してしまったのではないかと、考え、なるべく、手紙で連絡をとっていましたが、岡市君、本人からは、殆んど、返信はありませんでした。

たまに、岡市君から、ハガキが届くと、大きく乱れた字で、「キタザワの手紙で、元気になった、僕も、ガンバル！」と、やっとの思いで書いた様子が、伺えました。

今年の1月の半ば、岡市君から、電話がありました。

「カレンダーと、ダイアリー、ありがとう。少し、元気になった。」と、ゆっくり、ゆっくり、話して、くれましたが、それが、岡市協生君との、最後の会話になってしまいました。

岡市君の様態を、気にかけていた、同期の今堀太逸君は、参加出来ませんでした。今年8月の、お盆の時期に、平井真人君の呼びかけで、5年前にポロック染めをやった、思い出の南山手の別宅に、数人が集まり、岡市夫妻との交流を、懐かしみました。

翌日は、奥さん、平井君と、私の3人で、岡市君が生前、自分で選んだ、長崎湾を眼下に眺める、高台の墓地に行き、花を供え、冥福を祈りました。

奥さんから、「東京にいる、実の娘さん夫妻が、長崎の病室に、見舞いに来てくれて、岡市も、非常の喜んでいた」との話を、聞きました。

奥さんは、「娘さんは、自分のことを、歳の離れた姉と誤って聞かれていますので、この南山手の家は、東京の娘さんに、譲ることにした。私も近々、美容院の仕事を、始めようと思う。」と、いつまでも、悔やむのではなく、しっかり、生きていこうという、決意を感じました。

最後は、闘病で、苦しい思いをした、時期もありましたが、多くの知己を得て、充実した歳月を過ごした、岡市君の人生は、概ね、吉と言えるのではないのでしょうか。



写真(坂本 龍馬)



会報では故人の方を偲ぶ、現役時代の活躍の様子、エピソード、卒業後の模様、人柄が偲ばれる思い出話等を、募っています。

次回発行の会報で、掲載させていただきます。

送り先は、今回の会報に同封の別紙「会員だより」を、お送りいただくか、下記メールアドレスにお寄せください。

枚方市星丘4-12-8 寺西 啓三

TEL : 090-5887-8777 FAX : 072-849-7237

メールアドレス : kkteranishi@yahoo.co.jp

OB・OGの、ハンドボール取り組み

「インクルージョン」への理念 車椅子ハンドボール・障がい者と健常者の共生社会

2017年10月14日

一般社団法人 日本車椅子ハンドボール連盟

会長 木野 実 (16期)

1972年ミュンヘン、1976年モントリオール、
オリンピック日本代表

車椅子ハンドボール競技は、障がい者、健常者を問わず、老若男女が、共に楽しめる、「共生型スポーツ」です。

2020年の東京オリパラ招致が、決定し、東京に向け、昨年開催された、リオパラを見ましても、パラスポーツを、取り巻く環境も、大きな変化が、出てきています。

特に、マスメディア報道は、従来にない、取り扱いにより、国民の関心、認知度も、格段に高まりつつあります。

また、国の政策、福祉、教育、スポーツ界、経済界等での、理念の変遷は、インテグレーション（統合・統一）からインクルージョン（一体化）へ、理念の転換が、見られます。

そして、スポーツ基本法が成立（平成23年6月）し、スポーツ自体の振興にとどまらず、障がいの有無や、男女、年齢等の違いをこ

えて、誰もがスポーツを楽しむという、社会の流れが、生まれています。

この度の、東京オリパラには、車椅子ハンドボールは、残念ながら、種目には入っていませんが、欧州、南米、オーストラリアなどの地域では、徐々に広がりを見えています。

ハンドボール、その他スポーツで、下肢の損傷で、走れなくなった方なども、最近では、車いすハンドボールの存在を知り、元気に、プレーされる方もいます。

車椅子の操作が、最初はぎこちないですが、操作が身につけば、ブロックプレー、リターンプレーなどの戦術も、見られるようになっていきます。

是非一度、寝屋川高校OB・OGの方も、プレーを体験され、面白さ、楽しさ、難しさ、障がい者への、理解も深まるし、何かを感じていただけるものと、思います。

各方面から、共生型車椅子ハンドボール競技の取り組みに、温かい激励をいただき、高く評価され、今後の発展に、期待されています。

鈴木大地スポーツ庁・長官も、健常者が障がい者と、共にプレーすることは、普及面でも、障がい者の理解促進につながる上でも、大事だと言っておられます。

他の競技を、見ましても、車椅子バスケット（大学では、東西で、健常者と障がい者で、リーグ戦）、ブラインドサッカー、アイスレジャ、ローリングバレーなど、障がいの有無にかかわらず、共にプレーしている、競技もあります。

また、ウエルチエアーラグビーも、障がい者と健常者の、コラボをおこない、スポーツを通して、人と人との距離を近づけ、深い理解に繋がっています。

最近では、箱根駅伝を連覇した、青山学院陸上部が、「自分たちに、何か、できることはないか？」と、積極的に、盲人マラソンの伴走に協力する、取り組みも行っています。

車椅子等を、移動するにも、健常者のヘルパーも、必要だし、障がい者の活動の充実や、スポーツに関心のない障がい者の、スポーツの出会いに、つながっています。

日本サッカー協会（JFA）では、「JFAグラスルーツ宣言」を発表し、7つの障がい者サッカー競技団体とで、障がい者サッカー協議会を設置し、障がい者サッカー連盟が、設立されました。

車椅子ハンドボールは、多くの課題がありますが、これからの、重点取り組みは

1) 車椅子ハンドボールに、出会える機会を、つくっていく

- （各種大会、学校での体験会等）
- 2) 車椅子ハンドボールの、普及、振興を図り、裾野を広げる（西日本、東日本で、各20チーム）
- 3) すぐにプレーできるための、自前の車椅子の確保（財原の確保）
- 4) 身近にできる、活動場所の確保、公共施設の活用と、理解を深める

車椅子ハンドボール競技は、これまで発足以来、多くの関係者皆様のご尽力で、ここまで来しました。

そして、今年、第15回の記念全国大会（於、京都・京田辺中央体育館）が11月11日（土）～12日（日）に開催されます。

多くの皆様が、会場にお越しいただき、ご観戦、ご声援いただければ、大変うれしいです。

車椅子ハンドボールは、障がい者スポーツの理念である、「日本の活力ある、共生社会の創造に向けて」、さらに、前進させたいと思いますので、何卒よろしく、お願い申し上げます。

車椅子ハンドボール競技の主なルール

- ① コート内（ゴールキーパー含む）、6人のプレーヤーで行います。そして、障がい者、或いは、女性1名が、必ず、出場していなければ、なりません。
- ② コートの広さは、35m×20m。ゴールポストは、横3m、高さ1.65mです。
- ③ ボールは、通常のボールと違って、ソフトタイプのボール（直径16cm～18cm）です。
- ④ 主な反則では、ボールを保持して、車椅子ハンドリムを、4回以上プッシュ（オーバープッシュ）した場合、相手ボールになります。
- ⑤ 車椅子の、フットプレート部より、前で転がっているボールを、拾ったら反則。ただし、ボールが跳ねていたり、車椅子の横側で跳ねている、又は、止まっているボールを拾っても、セーフです。
- ⑥ プッシング、チャージング、ラインクロス等は、同じです。





会員だより

3期 村田 芳子 (旧姓、菊島)

平成29年7月11日

いつも、会報を御送りして頂き、ありがとうございます。

3期生の私は、「学生時代は、ハンドボール競技に、どっぷりつかってましたよ!」と、口ばかりの(自慢話)をして、本人が、一番喜んでます。

皆様に、感謝の老後で、ございます。



<会員通信>

リレー伝言板

29期 鍋谷 房雄

29期の、鍋谷です。

1年先輩の28期笠松さんから、襷を渡されましたが、笠松さんとは、高校だけでなく、大阪府立大学でも1年後輩として、ほぼ同じ体験をしてきており、現役時代を語ると、内容がほぼ丸被りしてしまうので、今回は割愛させていただきます。

寝屋川高校ハンドボール部入部、当時の顧問は、望月先生(4代目顧問)でしたが、男子の方は、日体大を卒業されたばかりの、福井先生が指導されていました。

福井先生からは、私が左効きということで、1年生の時から先輩に混じって、試合に出さされて、とにかくボールを持ったら、ディフェンスの上から、ロングシュートを打ちまくれと、指導されました。

結局、その時の経験があったから、大学に行ってから、他の高身長部員を差し置いて、卒業するまでずっと、フローター(今でも、そう言うかわかりませんが)で、プレーすることができたのだと思います。

それと、大学2年の夏に、筑波大学に遠征合宿したときに、寝屋川高校のOBでもあった、筑波大ハンドボール部顧問の大西先生

(16期生)に、ご指導いただいたこと、後に、全日本のエースとして活躍した、西山清選手(1984年ロサンゼルスオリンピック、1988年ソウルオリンピック、日本代表)のプレーを、間近で見ることができたのも、良い思い出として、記憶に残っています。

望月先生で思い出すのは、大学4年のもうすぐ卒業という時期に、同期の西村君らと、寝屋川クラブとして、大阪府のクラブ大会に出場し、準決勝で、大阪市立高校OBクラブと、対戦した時のことです。

大阪市立クラブは、ちょうど私たちが高校3年の時に、インターハイに出場した、大阪市立高校のメンバーが中心の、強豪クラブだったので、対戦前から、これは勝てないかなと、思っていました。

ところが、その時の審判が、たまたま望月先生で、前半リードされてのハーフタイムで、望月先生から、「ばかもん!しっかりせんか」と、活を入れられ、それが効いたのか、後半逆転して、勝つことができました。

その勢いで、決勝戦も、先輩の笠松さん、及び、当時の、私の大学の先輩ばかりだった、大阪府立大学OBクラブを破って、優勝することができました。

決勝戦の相手が、自分もあと1ヶ月後には、参加する予定のチームだったのは、少し複雑な気持ちではありましたが、寝屋川クラブとして、優勝できたことは、ほんとうに、嬉しい思い出になりました。

久しぶりに、現役時代のことを思い出させてくれた、リレー伝言板に感謝いたします。

リレーの、次回引継ぎ者の推薦については、数年前に、同期(29期)の同窓会を取りまとめしてくれた、久松俊美(旧姓、根来)さんか、同じく、同期の増田泰子(旧姓、西村)さんに、お願いしたいと思います。



37期 米倉 宏季

先日、ハンド部、OB・OG会の役員さんより、電話があり、「リレー伝言板」の、寄稿依頼との事。

30年以上も、寝屋高ハンドボール部から、離れていた私への、突然の依頼に驚き、最初は、断ったのですが、一期後輩の、南畑さんから指名との事で、引き受ける事にしました。

毎回、会報作成に尽力されておられる、OB・OG会役員の方には、大変申し訳ないのですが、今まで、送られてくる会報には、ろくに目を通さず、流し読み程度に、しておりました。

今回の寄稿にあたり、前回の会報を、同封いただいたのですが、南畑さんより、会報内で、リレー伝言されていたのですね。

そんなルールも、知りませんでした。

これからは、会報にきちんと、目を通すように、致します。

会報を読むと、ハンドボールに打ち込んでいた、あの頃の、懐かしい思い出が、蘇ってきました。

懐かしさついでに、実家に眠っていた、「月刊ハンドボーラー」を、引っ張り出し、ページをめくって、思い出す、試合の数々。

なかでも、特に印象深いのは、浪商高校との、試合でした。

強面のOBが、大勢でコートの外から、「殺すぞ〜」、「しばくぞ〜」とか、ものすごい、ヤジの嵐の中での、試合でしたが、1点差で、寝屋高が、勝利を収めることが、出来ました。

帰りに、報復があるんじゃないかと、不安に思いながら、帰ったような、気がします。(笑)

その後、中央大会へ進出し、優勝した此花学院と、2回戦で対戦した時は、北岡先生(5代目、顧問)の指示による、9mラインでの、マンツーマンディフェンスが奏功し、相手が戸惑って、最初はリードしており、「もしかして、勝てるかも」と、一瞬思いましたが、やはり、相手は強豪校です。

途中からは、ディフェンスも、バテバテになり、ボロボロに引き離されて、しまいました。

公式戦の試合結果が、掲載されていたり、各校のクラブ紹介の、記事等もあり、毎月楽しみにしていた事を、思い出します。

歳を取って、物忘れが多い、今日この頃、「月刊ハンドボーラー」のおかげで、記憶を呼び覚ます事が、出来ましたが、まだ発刊は、続いているのでしょうか?

ハンドボールは、メジャーとは、言い難いスポーツなので、購読者数は、少ないのではないかと、当時も、心配していたように、思います。

実際に、プレーしてみると、サッカーやバレーボール等、他のメジャースポーツにも、引けを取らないくらいに、面白く、観戦しても、攻守の入れ替わりも、激しく、スカイプレー等、見所のある球技と、思うのですが、なかなか、メジャーにならないのが、残念です。

寝屋高を、卒業した後、大学では、学生寮の寮長が、空手部の主将をしており、空手部に勧誘され、私のハンドボールは、高校時代で、幕を閉じる事となりました。

高校3年間だけの、経験でしたが、今まで、50年程の人生を振り返れば、寝屋高のハンドボールをやっていた頃が、一番充実していたように、思います。

ハンドボール部の、同期の皆とも、今では、年1回の、年賀状の



やりとりだけに、なっておりますが、一昨年に父、昨年に母が亡くなり、また今年は、嫁の両親が続けて亡くなったため、喪中葉書の連続ですが、元気にはしていますか。

「出来るだけ、同期は避ける」との、ルールですが、今回は、同期として、共に汗を流して頑張った、副キャプテンの「矢澤」君か、女子キャプテンの「藤本」さん（旧姓：坂口さん）に、お願いしたいと思います。

それでは、寝屋川高校ハンドボール部、及び、OB・OG会の、益々の発展を、願っております。

追伸、寄稿した翌日に、役員さんより、「月刊ハンドボーラー」が、日本ハンドボール協会のホームページで、閲覧出来る事を、教えていただきました。

ありがとうございます。

今も、継続しており、安心しました。

しかし、無料で、バックナンバーも、閲覧出来るって、凄いものですね。

現在は、2010年以降のものしか、掲載されておりませんが、今後、それ以前のものも、掲載予定との事で、楽しみにしております。



43期 藤江 文恵（旧姓、中野）

みな様、お久しぶりです。

43期の、「さくら」です。

お話しをいただいた時、正直、悩みました。

なぜなら、私にとって、ハンドボールは、苦しい思い出しか、ないからです。

けれど、そこで得た、大切な宝物は多く、その一人である、「わかば」からの、リレーだと言うことを聞き、お受けすることにしました。

現役時代、本当に、下手な部員でした。

向いていないのに、続けるべきか、やめるべきか、やめることは、逃げるのか？、ずっと悩みました。

でも、なんとか続けることが出来たのは、ハンド部みんなが、いてくれたからです。

離れたくなかった方が、大きかったからです。

劣等感いっぱい、部活の時間だったけれど、みんなの優しさで、続けられたんだと、思います。

いつも、木村（36期生、旧姓、高尾）先生に、個人指導を受けていました。

あまりにも出来ないので、横に来て下さり、つきっきりで教えてくれた先生。

卒業後も、色々な事を、相談しました。

初めての、大失恋の時、何度、先生に電話したか（懐かしい、公衆電話から・・・）。

ありがとうございます。

北岡先生（5代目顧問）、大変、迷惑をかけました。

最後に、5分だけが出るのが嫌で、ユニホームを着なかったこと・・・。

ごめんなさい。

みんなに、迷惑はかけましたが、最後まで、やりとげた事で、本当に色々な事を、学びました。

大切な人たちとも、今も、繋がっている事、嬉しいです。

思春期の息子達に、私がハンドボールをしていた事、信じてもらえず、笑われます。

（確かに・・・）運動が得意だった主人には、私の遺伝子が入ってしまっているから、息子達は、足が遅いのだと、嘆かれます。

そんな息子達も、それぞれスポーツを、がんばっています。

私がそうだったように、自分と向きあい、色々な葛藤の中、がんばっているのだと思うと、私の母がしてくれたように、体調の変化に気付き、見守って、支えてあげようと、思います。

色々と言っても、聞いてくれないから、自分で学んでいくしかないんだと、言い聞かせています。

私は、卒業後、もう運動部は入部しないと、思う一方、色々な事も経験したいと、言う思いもあり、大学のサークルを見学したものの、なぜか、体育会のマネージャーをした後、途中退部してから、アルバイトや旅行、興味ある事に、色々チャレンジしました。

対照的な、学生生活でした。

現在、憧れていた田舎生活、自給自足生活とまでは、いかないけれど、田舎に住み、畑や地域の人たちとの生活を、楽しんでいます。

星がきれいで、空も高い所、大好きです。

不便な所も、たくさんありますが・・・

今回のリレーバトンですが、同期の池田正文さんに、お願いします。

今回、この様な機会を得て、久しぶりに、懐かしく、大切な人につながる機会を、得ました。

大嫌いだったハンドボールに、今、心から感謝します。

ありがとうございます。

51期 松村 友紀

この度、リレー伝言板の、ご指名をいただいた、51期の松村友紀です。

久しぶりに、寝屋高の先輩から、連絡があり、この話を、いただいたのですが、卒業してから、ほとんど関わりがない為、私でいいのかと、悩みつつ・・・、しかしながら、せっかくの機会なので、恐縮ですが、コメントを書かせていただきます。

私が、ハンドボールと出会ったのは、高校1年生の春、運動はしたいけれど、どこの部活に入ろうかと、迷っているうちに、仮入部期間も過ぎ、部活に入りそびれていた時期に、同じクラスで、既にハンドボール部に入っていた「きょうさん」に、誘われたのがきっかけでした。

先輩方が、とても優しく、おもしろくて、ハンドボールという競技は、全く知りませんでした、楽しそうだし、入ってみよう。

そんな、感じでした。

正直、楽しく運動できればいいと、思っていた私は、熱心にハンドボールを、していませんでした。

当時のチームは、強いとは言えず、地区大会では、負けてばかりだったのですが、多少の悔しい思いは、ありつつも、まあいいかと、気楽に考えていました。

当時キャプテンだった、同期の「あきちゃん」には、迷惑をかけていたなど、反省しています。

とは言え、ハンド部での生活は、先輩・後輩にも恵まれ、合宿などのイベントもあり、充実した、楽しい日々でした。

さて、そんな私のハンドボール生活は、高校で終わるものと、思っていたのですが、大学に入り、またもや、ハンドボール部に入ること、なったのです。

当時、私が入学した大学の女子ハンドボール部に、寝屋高ハンド部の先輩である、「プラムさん」が、おられたのです。

人数が少ないチームだったこともあり、そんなにやる気のない私を、熱烈勧誘してくださり、とりあえず、助っ人で行った試合で、先輩たちのプレーと、人柄に魅了され、気がつけばハンド部に、入っていました。（笑）

そこからは、ハンドボールという競技の奥深さ、面白さに、どっぷりハマリ、当時、チームの部長をしてくださっていた、松永先生（34期松永先生も、寝屋高ハンド部出身とのことで、驚きました）の、理詰めのハンドボールのご指導のもと、リーグ戦で勝ったり、負けたり、遠征に行ったり、





インカレを見に行ったりと、ハンドボールを思いっきり楽しんだ、4年間でした。

大学を卒業してからは、ハンドボールをする機会も、無くなると思いきや、現在は、大学のチームの監督として、現役をサポートする形で、ハンドボールと関わっています。

ここまでくると、もうハンドボールと離れた生活は、できないんじゃないかと思う、今日、この頃です。(笑)

人生の大半を、ハンドボールと共に過ごし、楽しく生活しているわけですが、きっかけをくれたのは、寝屋高ハンド部であるわけで・・・、あまり関わっていない、現状ではありますが、また機会があれば、何かしらの形で、関わられたらと思います。

それでは、次の方の指名ですが、他の学年や、男子部との繋がりもほとんどないので、困り果て・・・、申し訳ないですが、同期でキャプテンだった、東山(旧姓 泉)亜貴子さんに、お願いしたいです。

よろしくお願いします。



59期 土井 安寿香 (旧姓、岩井)

こんにちは。
はじめまして。

59期の、土井安寿香(旧姓：岩井)です。

男ハン同期の藤森くん、ご指名ありがとうございます。

入学した時、私は、バスケ部を考えていましたが、赤星先生(7代目、顧問)から、お電話を頂いて、ハンドボール部に、見学に行きました。

もともと、ボールを投げるのが、得意だったので、「これなら、レギュラーになれそう!」と思い、入部することにしました。

しかし、1年の時、部活よりも、勉強が好きだった私は、両立なんて器用なことは出来ずに、勉強に重点をおいていました。

サボりこそ、しなかったものの、ほどほどに、練習すればいいくらいの、気持ちでいました。

私の気持ちが、変わったのは、2年になって、すぐのことです。

和歌山の強豪校との練習試合、同期の一人がケガをしまい、フォーメーションができなくなったことから、フリーで攻めるばかりになりました。

しかし、自分で考えて、プレーする練習をしていなかった、私は、何もできませんでした。

チームメイトが、それぞれ頑張っている姿を、目の当たりにし、自分の不甲斐なさを、痛感し、悔しくて、トイレで一人、泣いたのを、覚えています。

それからは、改心して、勉強よりも、部活に重点をおくようになりましたが、そこから、引退までの期間は、あっという間でした。

優しい先輩方、努力家の同期、明るく・楽しい後輩達、あの時のメンバーで、ハンドボールができたのは、本当に短い期間でした。

当時は若かったので、この時間が、ずっと続くような、気がしていましたが、今になって考えれば、はじめの1年間、本当にもったいないことをしたと、思います。

私は今、薬剤師として、働いています。

高校生の時は、「生涯現役!」と、思っていたのですが、卒業して10年以上経った今では、運動する習慣もなく、日常生活をするだけの、体力と筋力しか、ありません。(笑)

しかし、なにか少しでも、スポーツにかかわることがしたいと思い、「スポーツファーマシスト」という、資格をとりました。

国体などの、大きな大会に参加する選手の、ドーピング防止活動などに携わる、資格を持った、薬剤師です。

2020年には、東京オリンピックもあるので、自分の知識が、少しでも誰かの役に立てれば、と思っています。

最後になりましたが、高校3年間、そして、卒業してからも、お世話になっている赤星先生!、私をハンドボール部に、誘ってくださって、本当にありがとうございました。

しょっちゅう、怒られていた私は、心の中で、逆ギレしていましたが(態度に、でてた?)、先生の優しい笑顔が、大好きです。

卒業してからは、行く行く詐欺で、なかなかハンドコートに、顔を出せていませんが、また、先生に、会いに行きますね。

これからも、お元気でいてください。

では、次は、60期の森田智世さんに、お願いしたいと思います。

ともちゃん、よろしくー。

66期 児玉 竜汰

はじめまして。

66期で、キーパーをやりました、児玉竜汰です。

高校時代を振り返ると、部活が中心だったなど、改めて思います。

66期は、全体的に運動能力が低い代で、練習しては、堀川先生(8代目、顧問)に怒られ、試合しては、負けての、毎日でした。



今となっては、この怒られた話は、笑い話になり、同期で集まった時は、こういう話で、盛り上がってますが、当時は、精神的に、辛かったです。

入部当初こそ、20人近くいましたが、最後には、7人になりました。

そんな状況でも、最後まで続けたのは、同期のおかげと、思いますし、最後まで、続けて、よかったです、と思います。

一番印象に残っているのは、3年生時の春大会での、三島高校との試合です。

三島高校は、その年の春休みに、練習試合をし、一度も勝てなかった、相手でした。

そのチームに、勝った時、今までの3年間が、報われたような、気がしたのを、覚えています。

試合後に、みんなで、ご飯を食べに行き、めちゃめちゃ、喜んだのを、覚えています。

今、ぼくは、大学で、日本一を目指している、部活をしています。

しんどいことも、多いですが、高校時代、3年間やりきったという誇りが、支えてくれています。

時々、「堀川先生が、言っていたことは、こういうことやってんなー」と、思うことがあり、高校時代の、部活での経験は、一生の宝だなど、感じています。

次は、引退試合で、号泣していた、同期の佐藤昇五君に、お願いしたいと思います。

面白いの、期待してます!!



68期 足立 実央

木山さんから、リレー伝言板を受け継いだ、68期キャプテンの、足立実央です。

リレー伝言板を、自分が書くなんで、当時は思っていなかったもので、OGになったことを、改めて、実感しています。(笑)

今回は、書きたいことが、たくさんありますが、キャプテンに、していただいた時のことから、素直に書きたいと思います。

「みい、お前やれ」と、赤星先生(7代目、顧問)から言われた時のことを、今でも覚えています。

先輩方が、試合に負けただけでも、戸惑いや不安が、大きかったですか、任命されて、さらに不安が増し、涙が止まらなかったです。

私なりに、キャプテンとは、どうあるべきかが、凄く考えた結果、



3つありました。

まず、プレーの、上手さでした。

はっきり言って、わたしは上手く、ありませんでした。

これは、今でも、申し訳ない気持ちで、いっぱいになります。

それでも、試合で、先生が使ってくれたり、応援してくれた、チームメイトには、感謝しきれません。

2つ目は、普段の生活態度を、見直しました。

練習では、誰よりも声を出す、遅刻は絶対にしない、朝練は毎日行く、忘れものをしないなど、当たり前のことを、当たり前にするように、しました。

同期や、後輩にも、凄く、厳しかったと、思います。

怒ったことも、何回もありました。(笑)

それでも、慕ってくれた、みんなには、感謝しています。

最後は、みんなの前では、泣かないことです。

一人が泣くと、女子は、常につられてしまい、チームがゆらぐと、先輩から、教えていただきました。

私の代は、とくに、泣き虫がたくさんいました。(笑)

例えば、練習試合中に、出されて、走らされたり、フォーメーションが分からず、怒鳴られたりすると、みんなで、よく泣いていました。

1番しんどかったことは、冬でした。

オフシーズンですが、みんなの気持ちも、オフモードで、クラブにくるメンバーが、半分くらいだったことを、覚えています。

赤星先生も、練習に来てくれない、時期がありました。

本当に、どうしていいか分からず、チームをまとめきれない、自分を責めて、毎日、泣いていました。

堀川先生(8代目、顧問)に、助けていただき、話し合いを重ねたのが、記憶にあります。具体的に、どう解決したかは、はっきり分かりません。

とにかく、必死でした。(笑)

みんなの目に、どう映ったかはわかりませんが、本当に、本当に、支えられてばかりでした。

おかげで、最後まで、逃げずに、やり遂げることが、できました。ありがとう。

私たちは、春日丘高校に負け、シードを逃しました。

引退し、大学生になっても、心につかえるものが、ありました。後悔が、本当に、本当に、大きかったです。

しかし、春日丘に、後輩が勝ってくれた時は、何かから、解放された、気持ちになりました。

私たちが、出来なかったことを、してくれて、嬉しかったし、縦

の繋がりを、感じました。

本当に、ありがとう。

当時は、しんどいとばかり、思っていました。今、考えると、宝物です。

今でも、よくしてくれる、大切な仲間ができ、青春を過ごせました。

高校生活で、頑張ったことは？と、聞かれたら、部活と、胸を張って言えます。

みんなで、1つの目標に向かい、恵まれた環境で、何かをする機会なんて、なかなかないです。

後輩には、とにかく、ハンドボールが出来ることを、感謝し、心の底から、楽しんでほしいです。

それが、勝つための、1番の近道だと、思います。

また、試合見に行くので、頑張ってください！！

下手な文章ですが、読んでくださり、ありがとうございました。

次は、高校3年の時、同じクラスで、よく話した、68期男子副キャプテンの森脇くんに、お願いしたいと思います！



①「会員通信、リレー伝言板」は、OB・OGの皆さんを、大体10年単位で8グループに分けて、皆様に、近況や、ハンドボールへの思い、現役の時の思い出等を、自由に語っていただき、日頃疎遠になりがちな、同期、先輩、そして後輩へ、リレー形式でつないでもらっています。

(現在、3代目顧問・中出先生時代の3~15期の第1グループは、休止となっています。)

②また、掲載された内容についての感想、コメント等(字数制限なし)を、別紙、会員日より(連絡票)で、あなたの熱いメッセージを、お寄せください。(事務局・20期寺西)

会員の皆さんに紹介し、会員相互間の親睦の輪を、繋げていきたいと思っています。

③今回のリレー伝言板の記事で、次号指名された方には、次号会報発行前にOB・OG会事務局より、原稿依頼の連絡を、させていただきます。

次回は、あなたが指名されるかも・・・。

< 編集後記 >

- ① 12月の声を聞くとともに、あわただしさを感じる師走。2017年は、1月にアメリカトランプ大統領就任、2~11月北朝鮮ミサイル発射、3月森友学園・6月加計学園問題、9月衆議院選挙と言ったニュースで、世の中が動いた年でした。来る2018年は、いいニュースで、注目される年となることを、願うところです。
- ② 住所・氏名・電話の変更・訃報等がありましたら、下記、事務局まで、ご一報ください。

<事務局> 寺西 啓三(20期)

〒573-0013 枚方市星丘4-12-8

メールアドレス kkteranishi@yahoo.co.jp

TEL 090-5887-8777

FAX 072-849-7237

